

研究推進委員会及び執筆者紹介（論文掲載順）

野津 隆志（のつ たかし） ※ 委員長

兵庫県立大学政策科学研究所 教授 博士（教育学）
比較教育学、教育人類学（アジアの子どもの教育と人権に関する研究）

著書

- 『アメリカの教育支援ネットワーク』 東信堂 2007 年
- 『タイにおける外国人児童の教育と人権ーグローバル教育支援ネットワークの課題』 ブックウェイ 2014 年
- 『市民活動概論ーひょうごとアジアの NPO・NGO・ボランティアを学ぶー』 学術研究出版 2015 年
- 『多文化児童の未来をひらくー国内外の母語教育支援の現場から』 学術研究出版 2017 年（松田陽子、落合知子、野津隆志編著）
- 『私の赤ちゃんは先生です』 学術研究出版 2018 年

論文

- 「新渡日外国人児童生徒への教育保障ー兵庫における支援ネットワーク形成への課題ー」 兵庫県人権啓発協会研究紀要 第 10 輯 2009 年
- 「タイにおける外国人児童の学校不就学の要因ーサムットサーコーン県におけるミャンマー系児童の事例よりー」 『タイ研究』 第 10 号 2010 年
- 「タイにおけるニューカマーの学校就学と支援ネットワークに関する研究」 科学研究費研究成果中間報告書 2012 年
- 「学生の震災支援ボランティアによる学び」 兵庫県立大学商大論集 65 巻 第 1 号 2013 年
- 「東日本大震災支援のための学生ボランティア活動の課題ー宮城大と兵庫県立大の事例よりー」 兵庫県立大学商大論集 第 66 巻 第 1 号 2014 年
- 「赤ちゃん先生クラスが小学生に与える効果ー絵シート・アンケート調査の分析よりー」 梅野智美と共著 兵庫県立大学商大論集 69 巻 1, 2 号 2017 年
- 「タイの教育格差に関する基礎的分析ー教育統計と MICS 調査の概要」 兵庫県立大学商大論集 第 72 巻 3 号 2021 年

北村 広美（きたむら ひろみ）

多文化共生センターひょうご 代表 修士（人間科学）

藍野大学医療保健学部 非常勤講師

多文化共生、国際看護学、憲法学（人権法）

著書（共著）

『改訂版 多文化共生キーワード事典』明石書店、2010 年

『多文化共生政策へのアプローチ』明石書店、2011 年

『国際ボランティア論』ナカニシヤ出版、2011 年

論文

「看護教育における在日外国人ケアに関するカリキュラムの現状と課題」『兵庫県震災記念 21 世紀研究機構 平成 18 年度ヒューマンケア実践研究支援事業研究成果報告書』、2007 年

「多文化共生に関する現状および JICA での取り組み状況にかかる基礎分析」『平成 18 年度国際協力機構国際協力研究所客員研究』、2007 年

「フランスにおける留学生受け入れの現状－モンペリエでの実践から－」『大阪大学人間科学研究科ボランティア人間科学紀要』第 8 号、2008 年

「地域の「多文化まつり」への参画からの気づきと学び」『民族まつり研究会報告書 民族まつりの創造と展開』、2014 年

「多文化共生を学ぶ学生の背景－関西地域での看護師養成課程校における授業実践より－」『名古屋多文化共生研究会年報』第 16 号、2019 年

竹内 和雄（たけうち かずお）

兵庫県立大学環境人間学部 准教授 修士（教育学）

生徒指導論（困っている子どもへの対応方法に関する研究）

著書

『Mental Health and Wellbeing』SHANNON RESEARCH PRESS 2011 年(Rosalyn H.Shute, Phillip T.Slee et al)

『スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談』ほんの森出版 2014 年

『家庭や学校で語り合うスマホ時代のリスクとスキル』北大路書房 2014 年

『REDUCING CYBERBULLYING IN SCHOOL』 ACADEMIC PRESS 2017 年 (Marilyn Campbell, Sheri Bauman et al)

『スマホ・ネット基礎・基本ワーク』学事出版 2020 年

『スマホ・ケータイ持ち込みの基本ルール』学事出版 2021 年

論文

「“Smart” Online Violence in Japan and the United States: Discussing the similarity/difference of them and applicability of inter-school peer support system」『道徳性発達研究』8(1) 2014 年

「スマートフォン時代の大人が知っておきたいこと」『臨床心理学』15(2) 2015 年

「日中韓三か国シンポジウム：いじめの諸相」『日本心理学会発表論文集』79, 2015 年

「青少年のスマートフォン&インターネット問題にいかに対処すべきか：— 社会と教育心理学との協働に向けて —」教育心理学会年報 54(0),259-265 2015 年

「“Smartphone Summit” by Children for Sharing Rules and Strategies to Tackle Internet-Related Delinquency」『道徳性発達研究』9(1) 2015 年

「スマホ・ケータイ問題への対応—学校での指導の現状と課題」『児童心理』2015 年

「インターネット上の子どもへの暴力：私たちはいかにしてネット上で子どもたちを守るか（特集 子ども虐待防止世界会議名古屋 2014）」『日本子ども虐待防止学会学術雑誌』17(2) 2015 年

「インターネット時代のメディアの問題点とその対策」『チャイルドヘルス』19 (12) 2016 年

「教育現場におけるスマホ依存対策」『精神医学』87 2017 年

「スマホ時代の子供たちのために（社会安全フォーラム デジタル世界の子供たち：性犯罪被害防止を中心に）」『警察学論集』72(3) 2019 年

「ネット時代の教育相談，指導のあり方（家庭や学校は，子どもにインターネットをどう教えるか）」『こころの科学』221 2020 年

船越 明子（ふなこし あきこ）

神戸市看護大学 教授 博士(保健学)

精神保健看護学

著書

『子どものこころを育むケア～児童・思春期精神科看護の技～』 精神看護出版 2020年

『ひきこもり—親の歩みと子どもの変化』新曜社 2015年

論文

Akiko Funakoshi, Aki Tsunoda, Yuki Hada, Training of children and adolescents' mental health nursing for nursing students in Japan. Journal of Nursing Education and Practice, 7(9), 34-41, 2017.

船越明子, ひきこもり状態にある人をもつ家族の家族機能と親の困難. 日本精神衛生学会誌 32(1), 56-73, 2017.

Funakoshi A, Miyamoto Y. Significant factors in family difficulties for fathers and mothers who use support services for children with hikikomori. Psychiatry and clinical neurosciences. 69(4); 210-219. 2015.

Funakoshi A & Miyamoto Y: Quality Study of Attitudinal Change in Parents with a Child with Hikikomori. Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry. 52 Supplement, 18-31, 2011.

古角 美之（こかど よしゆき）

(公財)兵庫県生きがい創造協会嬉野台生涯教育センター 生涯学習企画調整担当課長
学士(教育学)

兵庫県立西はりま特別支援学校 校長(2017年度～2019年度)

兵庫県教育委員会播磨東教育事務所 所長(2016年度)

兵庫県教育委員会事務局人権教育課 指導係長・副課長・課長(2010年度～2015年度)

兵庫県教育委員会事務局人権教育課 指導主事・主任指導主事(2006年度～2009年度)

兵庫県教育委員会中播磨教育事務所 指導主事(2003年度～2005年度)

夢前町教育委員会事務局生涯学習課 派遣社会教育主事(1994年度～1998年度)

小学校 教諭(1984年度～1993年度、1999年度～2002年度)

「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」作成協力者（文部科学省「学校において利用可能な日本語能力の測定方法の開発」事業）（2010 年度～ 2012 年度）
学校における外国人児童生徒等に対する教育支援に関する有識者会議委員（文部科学省）（2015 年度）

「男女共同参画社会の実現をめざす教職員用指導資料」検討委員会委員（兵庫県教育委員会）（2017 年度）

兵庫県同和教育研究協議会 実践研究委員（2008 年度～ 2012 年度）

兵庫県人権教育研究協議会 副会長（2017 年度～ 2019 年度）

西播磨地区人権教育研究協議会 会長（2017 年度～ 2019 年度）

ひょうご夜間中学をひろめる会 副代表（2019 年度～現在）

報告書、資料作成・協力など

『学習者のエンパワメントにつながる啓発の手法を求めて－ワークショップ「部落問題」2002バージョンの実際』兵庫県人権・同和教育研究協議会実践研究紀要（2002年度）

『兵庫県における子ども多文化共生教育の取組について』JICA兵庫教師海外研修報告書（2007年度）

『人権教育指導プログラム』兵庫県教育委員会（2003年度）

『「地域における人権教育の推進をめざして」参加体験型人権学習実践事例集』兵庫県教育委員会

- ・ライフステージに応じた参加体験型実践事例編（2006年）
- ・高齢者、障害者、外国人編（2007年）
- ・インターネット、DV、HIV感染者、ハンセン病編（2008年）

『人権感覚をはぐくむ指導方法研究事業報告書』兵庫県教育委員会（2010年度）

その他、兵庫県教育委員会作成発行の人権教育資料（2006年度～2015年度）